

茨中・茨高では興味深い授業がたくさんある

H. T.

明治大学 政治経済学部 経済学科 進学

高萩市立 松岡小学校 卒業

茨中・茨高では興味深い授業が多くあります。その中でも中学3年生と高校1年生で英語の授業の中でオンライン英会話に取り組んだことが一番印象に残っています。初めは自分の発音や実際にネイティブの先生と話すことに自信がなく、毎回授業が憂鬱でしたが、少しずつ英語でコミュニケーションが取れるようになってくると自分から質問をしたり、自信をもって英語でスピーチしたりすることができるようになりました。そのため、夏休みや冬休みの期間は毎日1回オンライン英会話の授業を予約して自分のスピーキング力を伸ばすことができました。また、高校1年生での探究授業も印象的でした。自分で一つテーマを決めて、先生や同級生とともに内容を深めていくもので、私は興味のある地域課題の解決について探究しました。自分の力で論理立てて一つの明確な解決策に辿り着くまでの難しさや、普段の授業では触れられないことを学んでいく楽しさを経験しました。他の同級生の探究テーマに驚かせられたり、納得したり、アドバイスをしたりするなどとても刺激のある授業でした。この探究授業を通して自分の興味のある分野を知ることができた上に進路を決めるきっかけにもなりました。勉強面では、普段の授業と課外授業で定期テストや模試の対策を十分に補うことができます。私は、高校1年の春休みに中学校で学んだことを総復習しようと思い、塾の春期講習に行きました。2週間ほど通いましたが、そこでの内容は茨高の普段の授業や課外授業で行っているのと同様のものでした。それからは、塾に行くことなく学校の課外授業などを通して自分の苦手克服や応用問題の挑戦に取り組みました。茨中・茨高の先生方は模試の分析を丁寧にされているため、それに沿った問題や要点をまとめたプリントなどを用意してくださいます。無駄に参考書を買う必要はありませんでした。

私の中高6年間の学校生活は、半分が新型コロナウイルス感染症により制限を受けながらの生活でした。その中でも行われた行事をどう楽しむかが学校生活の思い出を増やす鍵にもなりました。高校の文化祭では文化祭実行委員の喫茶係に3年間携わりました。私たち生徒が主体となって当日販売したい食べ物や飲み物を決めて、値段設定をしたり、販売内容を宣伝するチラシを作ったりするなど当日までの準備の期間は他の実行委員の生徒と話し合いながら計画していくのでとてもワクワクしました。当日、品出しやお会計を行うなど飲食店のアルバイトをしているような感覚で、実際の売り上げは茨中・茨高に寄付されるため、責任を負いながらも普段できない経験をすることができました。自分のクラスの出し物にも参加しなければならないので文化祭期間はとても忙しいのですが、それ以上の楽しさと特別な思い出を作ることができました。

茨中・茨高にはとても専門性の高い先生方がいらっしゃいます。普段の授業の内容に豆知識などをプラスして授業を行ったり、初歩的な質問から発展的な質問まで私たちが納得できるように答えていただいたりするなど、その後のテスト勉強や授業においても記憶が残りやすく、自分の好きな教科はとことん成績を伸ばすことができます。また、長年茨中・茨高に勤めている先生もいらっしゃるので、OB・OGの方とのつながりも多く、私が気になる職業があった際、その職業に就いていらっしゃるOGの方とお話できる機会を設けさせていただいたりするなど、とても親身になって進路の相談を受けることができます。

大学進学後は、学科間の垣根を越えて学べる環境で地方の抱える問題を中心に研究し、また、高校時代に探究活動で知識不足ゆえに答えを出し切れなかったテーマについてもより深く探究して明かな解決策を見つけ出したいです。将来は大学で得た知識や考えを地元茨城に還元して、より良い暮らしを作り出す人材になりたいと考えています。